

**第四回 ITトレンド研究会 議事録**

日時: 2012/05/23(水)14:00~17:00

会場: 丸紅ビル B1F A 会議室

テーマ: Windows からの脱却。100%Web は法人にとって実現可能か？  
～GoogleApps はオフィスに革新をもたらすツールになりえるのか？～

講演者: 株式会社日本経営  
情報システム部 次長  
岡 倫宏 氏

司会・進行: ITトレンド研究会座長  
ニッタ株式会社  
コーポレートセンター 経営管理グループ  
船堂 晃 氏

当研究会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。

◆第一部

岡氏のご講演

◆ 第二部

1)岡氏による Google Apps デモ

2)自己紹介、所感、Q&A

※質問(Q)に対する回答(A)は岡氏

・他のグループウェアと比較して Google Apps は使用感などが異なると思っていましたが、岡氏の話とデモを見て良い印象を抱きました。

・社内に iPhone、iPad を導入していますが、3G 回線が繋がりにくく、モバイル Wi-Fi ルータを持たせようかと考えています。

・ Q )病院関連に向けてサービスを提供していますが、Google Apps のセキュリティ面について教えていただけますか。

→A )SSAE16(米国保証業務基準書第 16 号)Type II、ISAE3402(国際保証業務基準 3402)Type II を取得しています。セキュリティに関するホワイトペーパーも公開されています。

[https://static.googleusercontent.com/external\\_content/untrusted\\_dlcp/www.google.com/en/us/a/help/intl/ja/admins/pdf/WP64-1005\\_Security\\_Backgrounder\\_JA.pdf](https://static.googleusercontent.com/external_content/untrusted_dlcp/www.google.com/en/us/a/help/intl/ja/admins/pdf/WP64-1005_Security_Backgrounder_JA.pdf)

(本研究会後の5月29日には、ISO27001 認証を取得したと発表がありました)

・Q )どのようにして、経営層にデータの保全性などを伝えましたか？

→A )Google Apps の導入事例の中で、特に金融機関の事例を強調しました。

・Q ) Google Apps の文書管理は優れていますが、やはり、社外向けの文書は Office を利用する必要がありますか。

→A ) 社外とのやりとりには今後も引き続き Office は必要だと感じています。自社では、各部署に最新版の Office をインストールした PC を設置して対応していく方針です。

→Q ) iPhone データ通信契約はどのようにされていますか。

→A ) iPhone は、データ通信は定額制、通話は従量制です。もともと、PC 向けに USB 接続のデータ通信端末を利用していただけ、社員 1 人あたりのデータ通信契約が複数になってしまい、コスト増が問題になっています。今後はモバイル Wi-Fi ルータ 1 台にデータ通信契約をまとめ、iPhone ではなく、iPod Touch もしくは iPad (Wi-Fi 専用) を採用し、PC とデータ通信を共用することを予定しています。

また通常の携帯電話と違い、通話料金部分に相対契約ができず、上限なしの完全従量課金のため、ここでもコスト増が問題になっています。通話については、通常の携帯電話を配布する対応を予定しております。

・Q ) Google Apps の苦勞話について教えて頂きたいと思い参加しました。Salesforce も今後利用を検討していると同いしましたが、どこまで社内システムをクラウドに移行する予定でしょうか。

→A ) IE6 問題を抱えている、ワークフローシステムや交通費精算などの社内 Web システムを、クラウドに移行していきたいと考えています。

・Q ) 社内で Google Apps は検討しましたが、見送りました。質問ですが、Skype などの無料通話アプリは利用されていますか。

→A ) Skype は、iPhone・iPad での利用は認めています。

・Google Apps を販売する立場ですが、Google Apps を導入と一言にいても、企業によって利用形態や提案方法が異なると感じています。

・社内で災害時の連絡手段について検討しています。Google Apps は自宅待機中でも、メールやスケジュールの確認などができ、クラウドを利用することの利便性を感じています。

・Google Apps ではありませんが、社内グループウェアを月 500 円で使用しています。社内で Google Apps も検討しましたがワークフローの機能がないことがネックです。

・クラウドにアップロードした情報を、別のシステムに移行することを検討した場合、移行時にアップロードしたファイルをどのようにうづせばいいのか懸念しています。

・Q ) Google Apps ユーザが退職した場合、そのユーザの Google ドキュメントのファイルはどうなりますか。

→A ) 管理者が、他のユーザへファイルのオーナー権限を委譲することができるので、引き続き利用できます。

・お話を伺い、100%Webは無理だと感じました。文書作成などで、ネットワークに接続できない環境上では行えない状況が発生してしまうからです。また、中小企業の経営者が Google Apps で十分じゃないかと勘違いしてしまいそうな気がします。

・Q )デモを拝見して、メールの洪水になると感じましたが、いかがでしょうか？

→A )従来のメール以外に、Google カレンダーからの招待メールや Google ドキュメントからの共有を知らせるメールなども届くようになるので、確かにメールの洪水になってしまいます。ただ、検索が早いので実際は気になりません。また移動中に iPhone からメールをさっと読み、短文で返信できるものはその場で処理をし、きちんと調べてから返信する必要があるものにはラベルをつけておくので、社内の自席で対応するメールは逆に少なくなり、業務効率は高まっています。

この意味でも、GoogleApps は、スマートデバイスとあわせて利用することで、その導入効果が最大化されると感じます。

・Google Apps 導入に関して、岡氏がトップダウンで導入を推進したことが成功要因と感じています。

・Q )プレゼンテーション機能の使い心地はいかがでしょう？

→A )アニメーション機能などに凝る必要がなければ、ほぼ Power Point 同様の使い心地です。今回の講演資料も、Google ドキュメントのプレゼンテーションで作成しており、まさに今、オンラインでプレゼンをしています。

・Q )社内で情報セキュリティの担当をしています。質問ですが、Google Apps の SLA は企業ごとに違いますか？

→A )共通です。Google のホームページに記載されている SLA に対して利用者が従う形式です。

【参考】<http://www.google.com/apps/intl/ja/terms/sla.html>

・Q )Google Apps の各ユーザに対するアクセスコントロールやアクセス権の監視は可能ですか？

→A )アクセスコントロールは管理者画面で可能です。各サービスを、一括もしくはユーザ単位で、利用制限できます。またグループやサイトなどは、ユーザによる社外への公開リスクが伴いますが、ユーザの最大公開権限を一括で管理できるので、今は、社外には公開しないという運用をしています。アクセス権を監視するツールは今のところないようです。

・Q )Google Apps にアップロードしているファイルをダウンロードしたときにログは残りますか？

→A )ユーザのログは残りません。